

目標達成計画

作成日: 平成30年3月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	定期的に身体拘束に関する知識を学び、より一層理解を深める必要を感じている。	年に1回以上、社外研修の機会を作り、その内容を事業所全体に周知する。	身体拘束に関する社外研修に常勤1名を参加させる。また、研修内容を事業所で話し合い理解を深める。ミーティング等で年に2回以上身体拘束について話し合う。	12ヶ月
2	7	定期的に虐待防止に関する知識を学び、より一層理解を深める必要があると感じている。	年に1回以上、社外研修の機会を作り、その内容を事業所全体に周知する。	虐待、権利擁護についての研修に常勤1名を参加させる。研修内容を事業所で話し合い理解を深める。ミーティング等で年に2回以上虐待、権利擁護について話し合う。	12ヶ月
3	40	外食等の機会が少ない。楽しんで食事ができる機会を増やす必要がある。	ワンシーズンに一回、外食や行事食の機会を作る。	利用者の好みについて情報収集を行う。利用者の好みや状況に沿った外食計画を企画、実行する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。